

ロス削減へ新活動宣言を発出

「平成28年度通常総会」開催

日本万引防止システム協会(JEAS)

日本万引防止システム協会(東京都新宿区、戸田秀雄会長、TEL03・3305・2322)、以下

て、出席者が定足数を充たしており、成立している旨を報告。そして、議

容でした。

安全安心が脅かされると同時に、その被害額

の大きさをみれば、小売業が受ける被害は極めて大きな経済的損失となり、企業にとつて大変深刻な事態を招く」と懸念を示した。

5兆円を超える米国の不明ロス額。しかも、その6割以上が組織的な集団窃盗による被害額というものです。ネット販売

など、商品流通形態が大きく変化の中で、万引犯罪やその被害額が換金目的の悪質な組織犯罪へと

変わり変わっている実態が見えてきました」と海外の状況を報告。

国内に関しては、「青少年から高齢者へと広がる万引犯罪が、社会的にも憂慮すべき事態と言われる一方で、一過性の犯罪から組織犯罪へと進む高額窃盗事案が増えるなど、米国に似た犯罪情勢

の変化が見え隠れします。小売業様の負担を軽減し、尚且つ防犯効果の増大を図るために、いち企業単位から業界単位、業界単位から社会全体へと連携のとれた一体感のある防犯体制の充実が必須となります。

その具体策として、当

協会は万引防止システム

の更なる普及促進とともに、集団窃盗対策により

効果的な防犯画像の利用法の確立に注力したい。

青少年の非行防止や高齢者の犯罪抑止、これら一

過性の万引犯罪の抑止防止活動は、当協会の不変のミッションだが、悪質な集まりない集団窃盗対策にも力を注ぎ、当協会として安全、安心、快適な社会づくりに貢献」と語った。

今回、JEASは新活動宣言を発出。ロス削減へ向け、具体的な提案を行う姿勢を打ち出した。

総会の開催にあたり

万引犯罪防止機構(万防

万引犯罪の防止、抑止に

取り組み、万引防止システムの普及に努めてまいりました。その結果、商品監視装置や防犯カメラ

など、数多くのシステムが店舗に導入されましたが、残念ながらもまだ小売業様の自己防衛に依存しているのが現状です。そして議事に入り、第



戸田会長

1号議案「平成27年度事業報告、収支決算の件」、

第2号議案「平成28年度組織・人事の件」、第3号

議案「平成28年度事業計画、収支予算の件」、第4

号議案「新活動宣言発出の件」が報告され、承認された。今回、新理事に摺田祐司氏(日本電気)、米山英志氏(エイジスリ

ティールサポート研究所)を選任。また、JEASの新活動宣言として、犯罪情勢、犯罪特性にマッチした万引防止システムやサービスの開発の運用支援に注力していく内容を掲げた。

会場では、2015年の万引防止システムの市場規模調査結果の一部を紹介。EAS機器の出荷額は82億3598万円で、前年比18.8%増。ケーブル式盗難防止機器の出荷額は6億4582万円で、同2.1%減。保守費は3億1309万円で、同0.3%減。EASタグの出荷量は5億4507万個で、同9.2%減だった。

2%減だった。

9.

9.